

D X推進計画と関連事業について

第16回議会報告会 総務常任委員会

デジタル化推進の意義



紙からデータ・ツールでの管理へ



直接面談からオンライン面談へ



アナログでの周知からオンラインでの周知へ

- ▶ デジタル技術やデータを活用して業務効率化を図り、行政サービスの更なる向上に繋げることができる

①デジタル化推進事業

▶ 予算 2,362万2千円

▶ 事業の目的

デジタル技術を積極的に活用した業務改革を推進し、住民サービスの向上に繋げていくことを目的とする

▶ 内容及び効果

民間の専門的知見を取り入れるため、地域活性化起業人制度等を活用してデジタル人材（ICT分野）を受け入れる。また、年度途中に生じる突発的業務やデジタル技術等を活用した実証実験等の着手に係る経費を計上し、機敏かつ臨機応変なデジタル施策を展開することにより、市民サービスの向上に資することが期待できる

▶ 今後の方向性

デジタル技術を活用したプロジェクトに係る取組を推進する

② 「(仮称)那覇市DX推進計画」策定事業

- ▶ 令和4年度からの新規事業
- ▶ 実施手法 委託
- ▶ 予算額990万円

▶ 事業内容

昨今のデジタル技術の進展や新型コロナウイルスによる社会情勢の変化を踏まえ、デジタル化の方向性や基本的な考え方を示す計画を策定する

▶ 今後の方向性

策定後は、定期的な進捗確認を実施し、着実にデジタル化を推進

③ A I ・ R P A を活用した 業務の自動化推進事業

- ▶ 令和4年度 新規事業

- ▶ 予算 2,338万6千円

- ▶ 事業の目的

A I (Artificial Intelligence)やR P A (Robotic Process Automation)を活用し、人手によって行われる業務の自動化を推進することで、生み出された時間を職員にしかできない高度な政策立案や、さらに市民に寄り添った行政サービスを提供していくことを目的とする。

- ▶ 事業の内容及び効果

A I - O C R、R P A、A I 音声認識技術等の先端デジタル技術の活用により、人手によって行われる紙書類のデータ化、各システムへの入力作業及び会議記録の文字起こしなどを自動化し、業務時間の削減及び職員の負担軽減を図る

具体的な取組事例

- おくやみコーナープロジェクト
- 電子契約プロジェクト
- 情報発信プラットフォーム構築実証プロジェクト
- 行政手続のオンライン化プロジェクト
- その他

▶ 快適で利便性の高い住民生活（QOL）と効率的で住民から信頼される行政へ



以上、総務常任委員会の報告でした。
ご清聴ありがとうございました。

第16回議会報告会 総務常任委員会